

ニュースレター目次

- 第4回 JCC の開催
- WEE-WG 開催 (シエムリアップ州、トボークモム州、コンポントム州)
- フォローアップミーティング (コンボンチュナン州、コンボンチャム州)
- ジェンダー統計共有ワークショップ (コンボンチュナン州)

活動のアップデート

- 2021.4-2021.7
 - ・パイロット活動実施に向けてのオンライン会議(シエムリアップ州、トボークモム州、コンポントム州)
- 2021.5
 - ・COVID-19 インパクト調査の最終化
 - ・観光プロモーションビデオの最終化
- 2021.6
 - ・コンボンチュナン州ジェンダー統計ブックレット印刷
- 2021.7
 - ・第4回 JCC 開催
 - ・コミュニティレベルでのジェンダー、社会経済に関する現況調査の開始(シエムリアップ州)
- 2021.8
 - ・州レベルのモニタリングデータ分析(シエムリアップ州)
- 2021.9
 - ・WEE-WG 開催(シエムリアップ州、トボークモム州、コンポントム州)
 - ・ジェンダー統計共有ワークショップ(コンボンチュナン州)
 - ・活動のフォローアップ(コンボンチュナン州、コンボンチャム州)

JICA ホームページ、JICA カンボジア事務所の Facebook でも随時活動を紹介しています。
<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>
<https://www.facebook.com/JICACambodia/>

第4回 JCC の開催

7月29日にオンラインによる第4回 JCC を開催し、これまでの活動の成果を共有すると共に今後の見通しについて話し合いました。JCC には、女性省、中央の関係省庁、パイロット州関係局、JICA 本部、JICA カンボジア事務所、プロジェクトメンバーによる約90名の参加がありました。H.E. Ing Kanthaphavy 女性省大臣が JCC 議長を務め、H.E. ChanSorey 次官が活動の成果についてプレゼンテーションを行い、前回の JCC 以降、約1.5年間の活動について振り返りました。続いて Ms. Te Vouch Lim 計画統計局長から、コロナ禍における今後の活動の方向性を説明しました。



H.E. Ing Kanthaphavy 大臣



JCC 参加者

COVID-19 の影響でパイロット活動の対象地域であるコミュニティでの活動が制限される中、計画通りの活動を行うことが困難な状況が続いています。PGM-WEE では、パイロット活動を通して連携州局や行政関係者が WEE についての理解を深め、関連事業に反映し実行できるようにするための能力強化を行っています。地域で暮らす女性たちのエンパワーメントの実現を目指し、必要な支援は何かをコミュニティでの実践から学んでいます。そのため、パイロット活動がコミュニティで十分に実施できなければ、実践の機会が減少し、能力強化の質に影響することが懸念されます。こうした状況下において、プロジェクトとしては、コロナ禍においてもできるだけ能力強化の機会を継続して提供できるように、オンラインによる研修を活発に提供したり、タブレット等を利用して地域の女性たちの参加を促し、実践の機会を確保するなど、女性省と協議しながら、今後の活動をより工夫して行っています。

プロジェクトの終了が2022年2月に迫っていることから、JCC では2021年9月末時点でのパイロット地域における COVID-19 の影響をふまえて、10月以降の州レベルでのパイロット活動の実施の可否やプロジェクト期間の延長について判断することが合意されました。

今後も COVID-19 の影響は予想されますが、オンラインツールを活用しながら柔軟に対応し、プロジェクト終了に向けてより良い成果を出せるようカウンターパートと共に取り組んでいきたいと思っております。

2. WEE-WG ミーティングの開催

9月に入って COVID-19 感染拡大の状況が少しずつ落ち着いてきたため、各州でパイロット活動再開のための WEE-WG ミーティングを開催しました。

《シェムリアップ州》



会議では、①これまでのシェムリアップ州における活動成果の確認（モニタリング分析結果の共有）、②今後のパイロット活動の方向性、③統計ブックレット作成プロセスについて協議しました。①では、研修で学んだジェンダー知識を女性たちが家庭で実際に実践



したり（意思決定や収入管理の話し合いへの関与）、家事分担の改善やビジネス活動への家族の支援の増加などポジティブな変化が多く報告されました。②では、今後の取り組みとして、ジェンダー視点に基づく観光ビジネスのモデルを形成支援すること、③ではジェンダー統計ブックレット作成にあたっての各局の役割分担と作成スケジュールについて合意されました。このミーティングでは主として女性省カウンターパートがプレゼンテーションを行いました。担当部分について事前に繰り返し練習を行うなど、以前と比べてカウンターパートの積極的な姿勢が伺えました。

《トボークモム州、コンポントム州》

トボークモム州とコンポントム州では、コロナ禍におけるパイロット活動の進め方について話し合いました。その結果、①ジェンダー研修や技術研修（手工芸、養鶏、野菜栽培）に係るトレーナー研修についてはオンラインで行い、対象となるトレーナー研修参加者（州局メンバー）を 4 グループに分けて実施すること、②村での実際の研修実施については一度に集まれるのは 15 人が上限であることから同じ研修を複数回に分けて実施すること、③パイロット活動実施中の WEE-WG ミーティング開催は主としてオンラインで行うことなどについて合意しました。また、活動計画については対象女性の研修ニーズや COVID-19 の状況に合わせて柔軟に

対応していくこと、コンポンチュナン州で良いインパクトが発現したジェンダー研修は合計 4 回実施することなどが決定しました。10 月からのパイロット活動再開に向けて準備を進めていきます。



3. フォロアアップミーティング

コンポンチュナム州とコンポンチュナン州ではフォローアップのための WEE-WG ミーティングを開催し、WEE-WG をプロジェクト終了後も継続すること、ジェンダー主流化にかかる関係者の能力強化を図っていくことについて合意を得ました。今後、WEE-WG を既存の体制においてどのように位置づけ、機能を強化していくかについて議論を深めていきたいと思ひます。



4. ジェンダー統計共有ワークショップ

コンポンチュナン州ではジェンダー統計ブックレットが完成し、これらを州関係者と共有するためのワークショップを開催しました。女性省のカウンターパート



と女性局が中心となって開催準備を進め、必要なプレゼンテーション資料は女性省のカウンターパートが作成しました。女性省でのジェンダー統計に関する取り組みは経験が蓄積されているため、PGM-WEE でも女性省が主体となって進めています。今後、統計情報をどのように政策立案や事業実施に活用していくかについては、より深い理解と実践が必要となっています。